

### 一般質問(要旨)



議員 八島 功明  
民主党 浦市選出  
一括方式

#### 世界湖沼会議の意義と取り組み

議員 本県で平成三十年に世界湖沼会議が開催されるが、その意義と成功に向けた取り組みは。

知事 水質保全対策に役立つ、世界の新たな知見に接することができると、水質保全の研究などの成果を発信し、世界各地の水環境の課題の解決に貢献することが可能となる。また、市民の環境活動を発表する機会を設け、海外での市民活動の展開を促すとともに、市民が参加しやすくすることで市民の機運の醸成を図っていく。



議員 鈴木 定幸  
民主党 大宮市選出  
一括方式

#### 鬼怒川決壊にみる土木行政の今後

議員 鬼怒川堤防決壊をはじめとする最近の大きな災害と犠牲者数を鑑み、今後の土木行政をどのように進めていくのか。

知事 国の直轄事業や国の補助で行う県の河川事業の予算の増額に向け、中央要望などを通して国に対して要望してきたが、今後は、さらなる予算確保に向け、市町村と連携し、国への働き掛けを強める。また、県の予算については、財政状況を勘案しつつ積極的に対応していく。

#### 就学前教育の充実

議員 小1プロブレム※の解消や幼保小連携などの就学前教育の充実へ向け、どう取り組むのか。

教育長 学識経験者などから成る就学前教育・家庭教育推進協議会を設置し、就学前教育の在り方を検討するほか、子ども政策局などと連携し、一体となって推進していく。また、幼保小連携についても教員・保育士の合同研修会などで、改善手法などを検討していく。(ほかに、(仮称)水郷筑波サイクリングコース整備、茨城型地域包括ケアシステム構築なども質問)



第15回世界湖沼会議の様子(イタリア・ベルギー)

#### 県産木材の認証制度

議員 県産木材の利用促進を図るため、林業関係団体による独自の産地認証制度を早急に確立すべきと考えるが、所見は。

農林水産部長 認証制度の導入については、県木材協同組合連合会が検討を進めており、県でも品質確保のための基準を示すなど積極的な支援を行ってきたところである。品質の高い県産木材の供給体制も整ってきたことから、早急な制度の立ち上げに努める。(ほかに、ワークリック義援金、教育格差の是正なども質問)



鬼怒川堤防の本復旧状況



議員 川口 政弥  
民主党 浦市選出  
一括方式

#### 地方創生における総合戦略などの実現に向けた取り組み

議員 地方創生は人口減少問題に取り組み、活力ある地域づくりを推進していく上で残された数少ないチャンスの一つである。今後、どのように「茨城創生」に取り組んでいくのか。

知事 人口減少の進行を緩やかにするとともに、将来にわたって活力ある地域社会を維持できるように、本県の強みを最大限に生かして、さまざまな施策に全力で取り組み、若者や女性の希望がかなえられる茨城創生の実現を目指していく。

#### 文化芸術に触れる機会の充実

議員 人格形成上、児童生徒が文化芸術に触れることは大変重要である。県内の素晴らしい財産を生かし、文化芸術に触れる機会をどのように充実させていくのか。

教育長 県立美術館や博物館の魅力を高めるとともに、学校における取り組みを充実し、児童生徒が優れた文化芸術を鑑賞・体験する機会を数多く提供することにより、心の教育を一層推進していく。(ほかに、読書量の確保に向けた取り組み、県道取手つくば線の酒詰交差点改良なども質問)



文化芸術活動の拠点施設である県近代美術館



議員 高橋 勝則  
民主党 古河市選出  
一括方式

#### 河川の防災対策の強化と宮戸川の整備

議員 大規模な災害に備え、河川の防災対策に必要な資材を十分に備蓄しておくこと、関東・東北豪雨で決壊した宮戸川についての計画的な治水対策を行うことなどが必要と考えるが、所見は。

土木部長 備蓄材については、今後も確保に努めるとともに、関係機関との意見交換会などを通して備蓄材の情報をしっかりと共有していく。宮戸川については、堤防などの調査を進め、結果を踏まえて整備手法などを検討していく。

#### 骨髄移植の推進

議員 骨髄移植を推進するため、骨髄ドナーに対する助成制度を導入するとともに、ドナー登録を増やすための普及啓発の取り組みを強化すべきと考えるが、所見は。

保健福祉部長 助成制度については、いくつかの市町で導入の動きがあり、県でも市町村が骨髄提供者に補助する経費の一部を助成する制度を設けていきたい。普及啓発については、SNSなどを活用して効果的な活動を展開していく。(ほかに、要援護者の避難対策、定時制高校の役割なども質問)



宮戸川(古河市)における応急復旧工事の状況

### 大規模災害対策調査特別委員会

地球規模の気候変動などにより、県民生活を取り巻く環境は大きく変容しており、台風や竜巻、ゲリラ豪雨、大雪などの異常気象が多発するなど、県民の安全・安心な生活が脅かされております。特に近年では、東日本大震災や竜巻、昨年九月の関東・東北豪雨などにより、本県においても、人的・物的両面において甚大な被害が発生し、災害対策の重要性を再認識させられたところであります。

また、県内ではLNG基地や大規模コンビナートの集積など、企業立地や企業活動が進展を見せる中、そのような場所で火災などの事故に見舞われるようなことがあれば、その被害は従前にも増して甚大なものになることが想定されます。このように大規模災害発生時の蓋然性が高まる状況下において、これら災害から県民の生命と財産を守るための対策の強化は、急務となっております。

そこで、県議会では、大規模災害発生時の被害を最小限に食い止め、県民の安全・安心を確保するため、大規模災害対策の在り方などについて調査・検討を行う「大規模災害対策調査特別委員会」を三月二十四日の本会議で設置しました。委員構成は十五名で、次の通りです。

- |      |        |
|------|--------|
| 委員長  | 細谷 典幸  |
| 副委員長 | 神達 岳志  |
| 委員   | 葉梨 昌良  |
|      | 西條 衛   |
|      | 飯塚 秋男  |
|      | 常井 洋治  |
|      | 本澤 光   |
|      | 先崎 徹   |
| 委員   | 島田 幸三  |
|      | 鈴木 達也  |
|      | 磯崎 智男  |
|      | 飯田 光雄  |
|      | 佐藤 義弘  |
|      | 井手 たい子 |
|      | 山中 義弘  |

### YouTubeによる本会議および予算特別委員会の録画映像の配信をはじめました。

平成27年第4回定例会の録画映像からご覧になれます。YouTubeの県議会チャンネルには、県議会ホームページから入ることができます。なお、県議会ホームページでも、本会議および予算特別委員会の生中継、録画映像の配信を行っています。

<http://www.pref.ibaraki.jp/gikai/>



※【小1プロブレム】…小学校に入学したばかりの1年生が、集団行動がとれない、授業中に座ってられないなど、学校生活になじめない状態が続くこと。